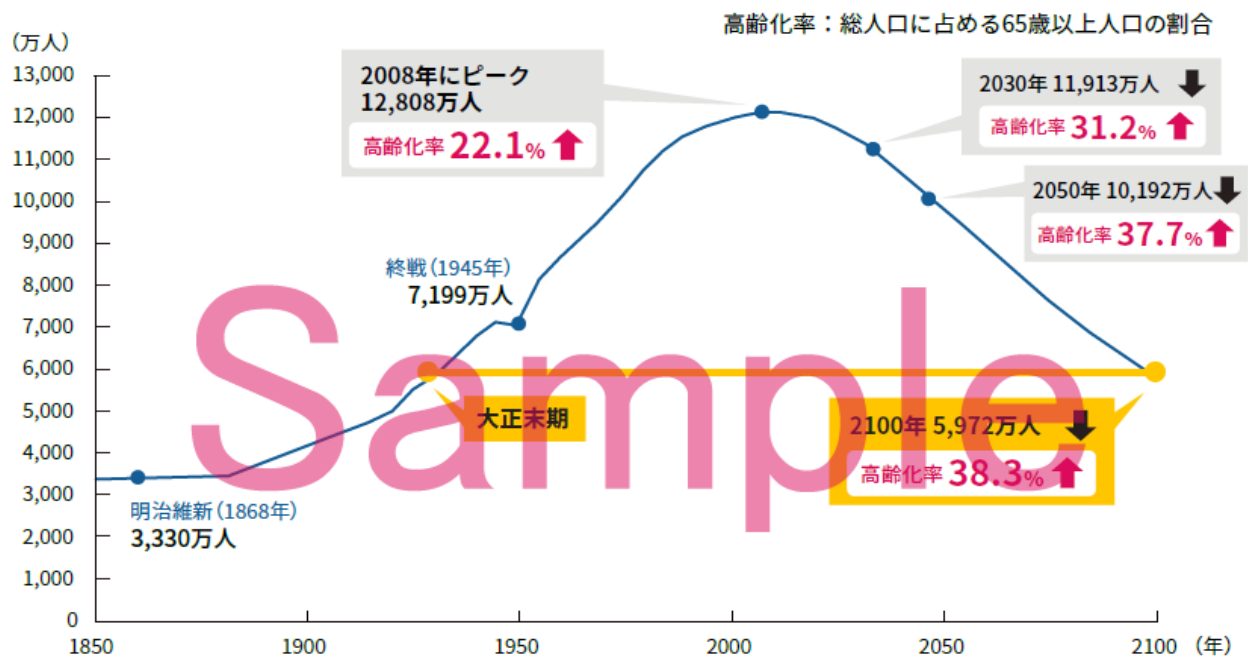
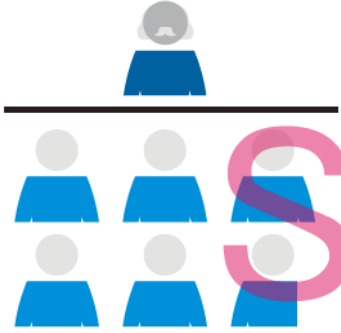


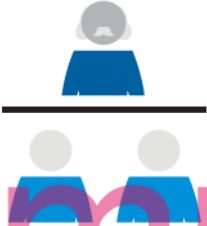


1990年



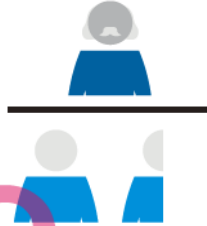
現役世代 約5.8人で負担

2020年



現役世代 約2.0人で負担

2040年



現役世代 約1.5人で負担

自助努力が必要!

身近な物価の動き

(1980年▶2020年)

牛肉ロース(100g)



574円
↓
924円

約1.60倍

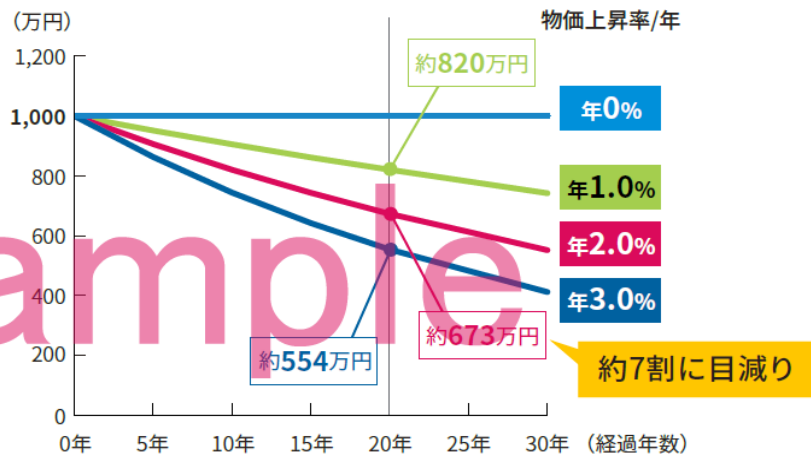
牛乳(1本/180ml入り)

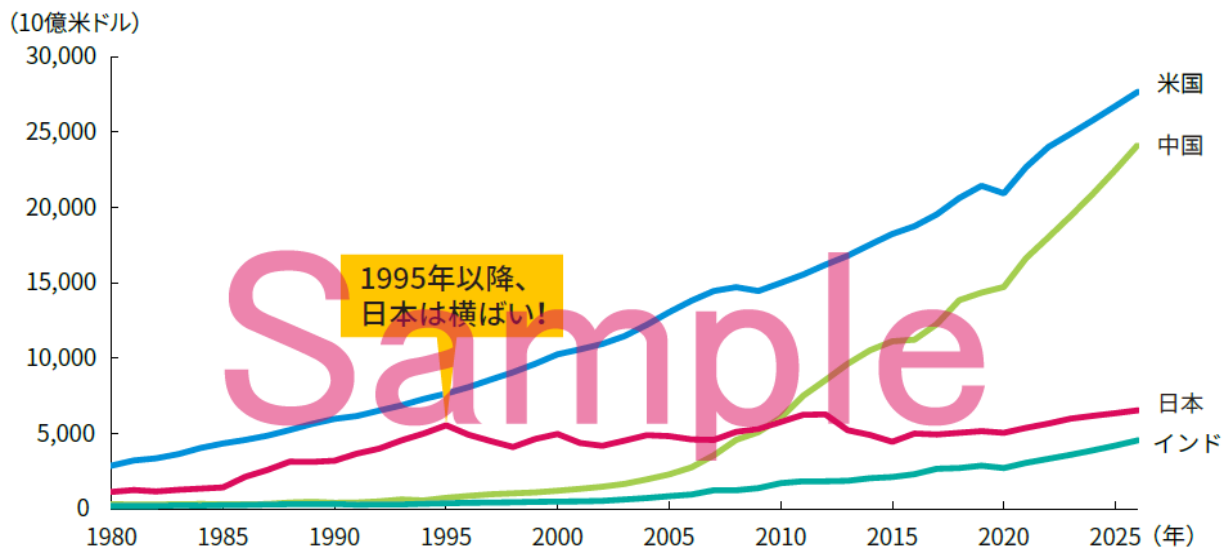


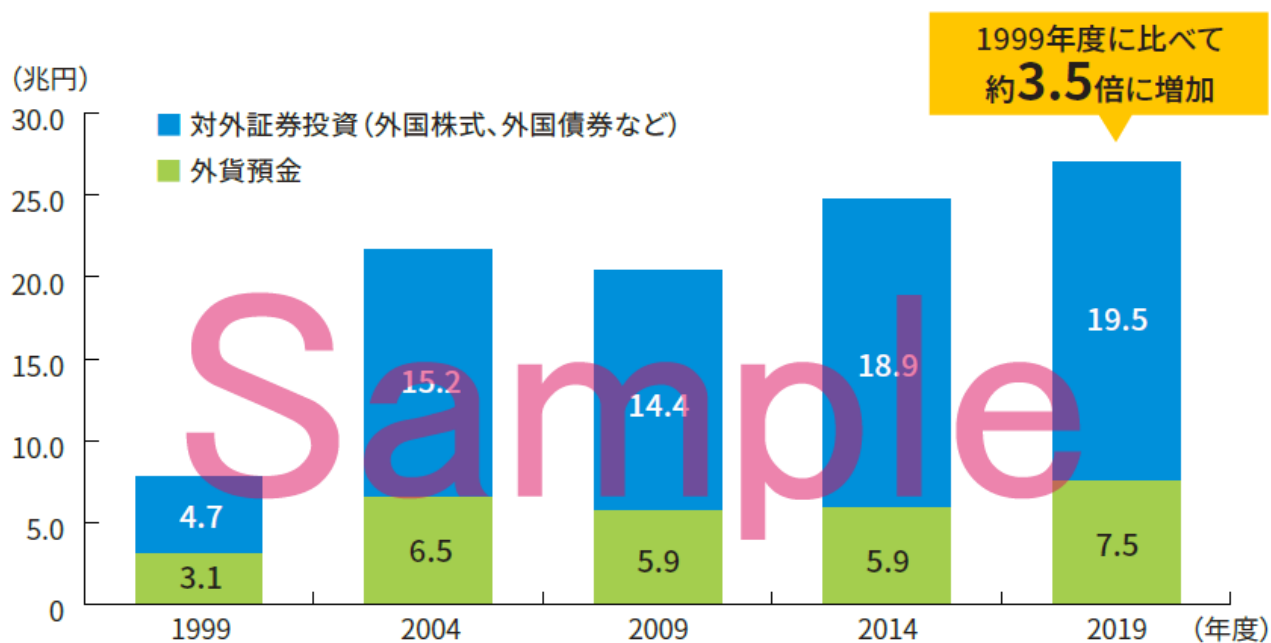
56円
↓
133円

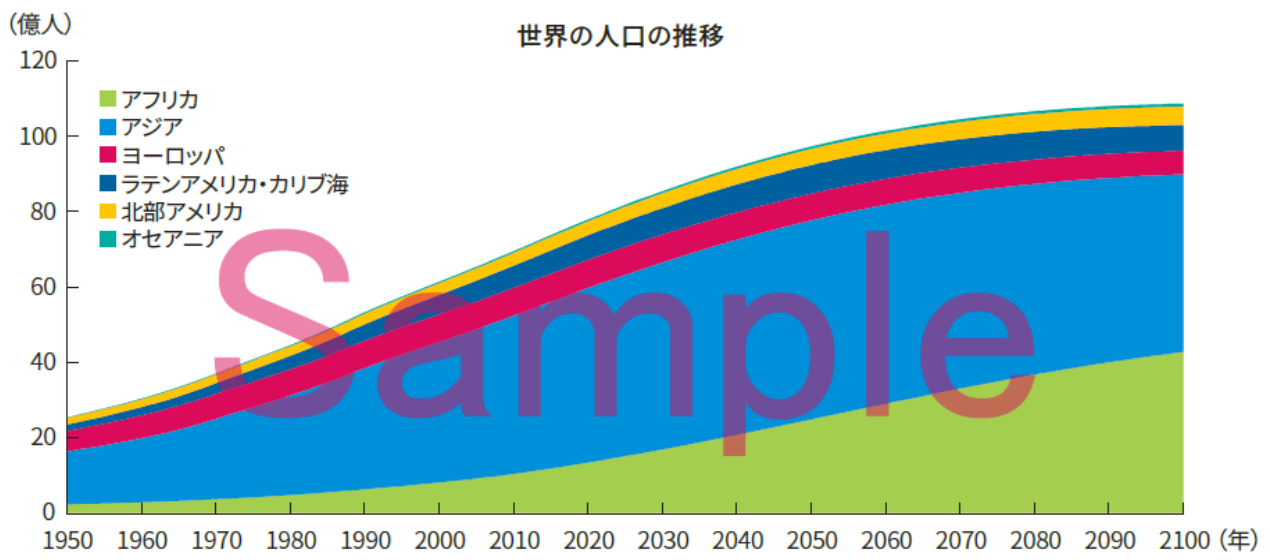
約2.37倍

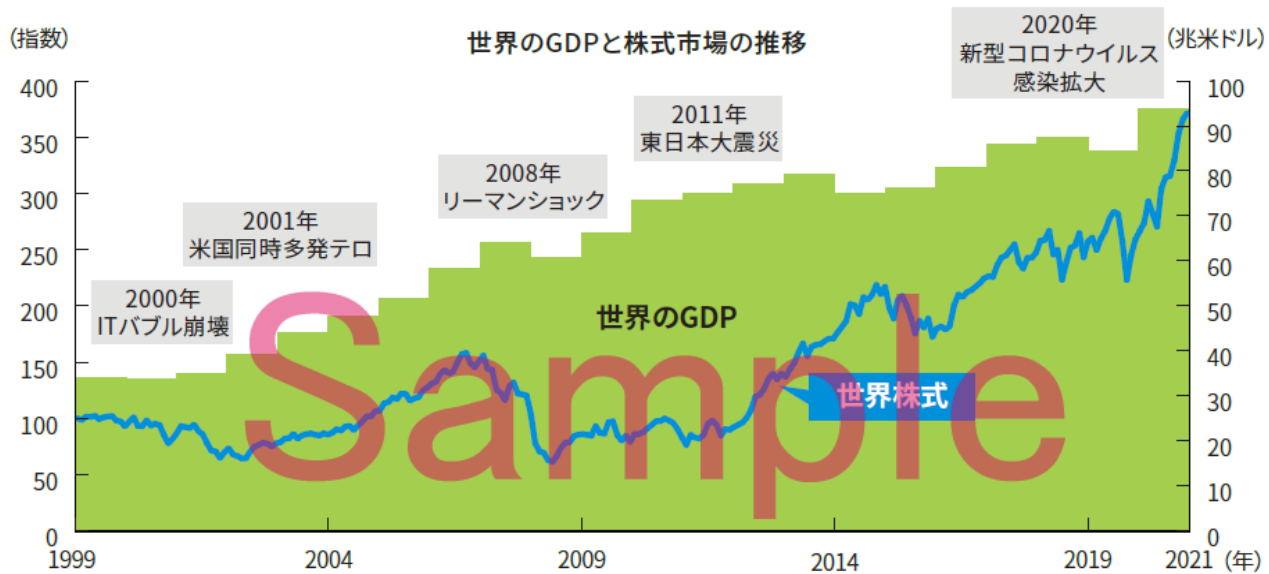
物価上昇による資産の目減り





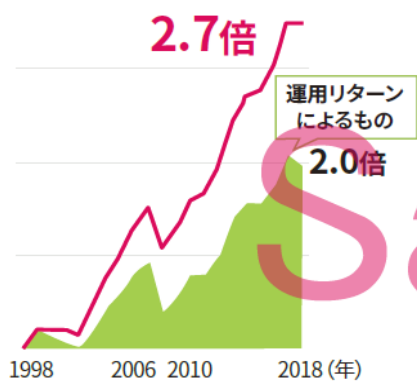




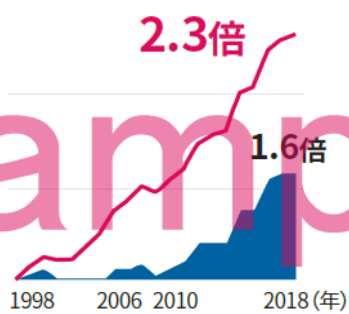


(倍率)

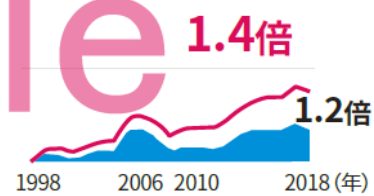
米国



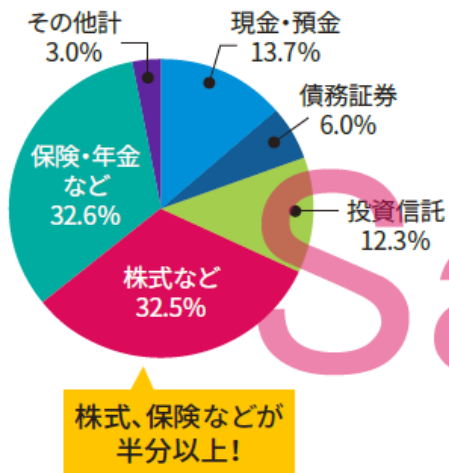
英国



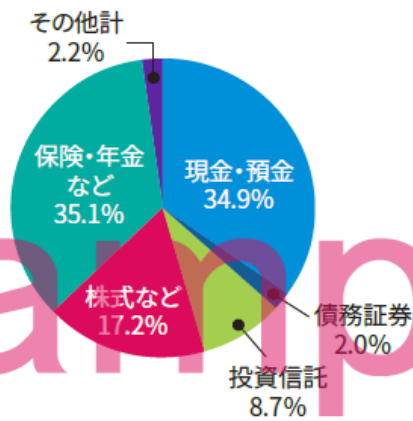
日本



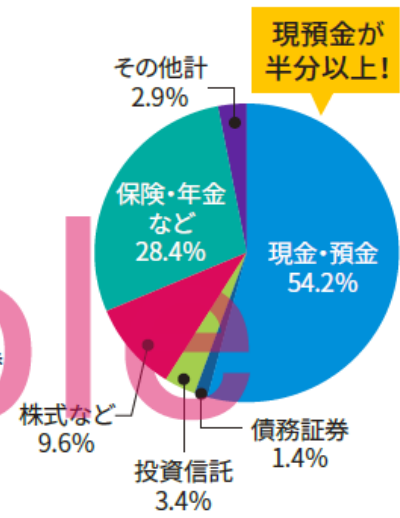
米国



ユーロエリア



日本



資産運用

マネーゲーム

貯蓄

ためる



投資

ふやす

コツコツと時間をかけて
「お金を育てる」こと!



投機

ハイリスクでの
短期取引



ギャンブル

賭けごと

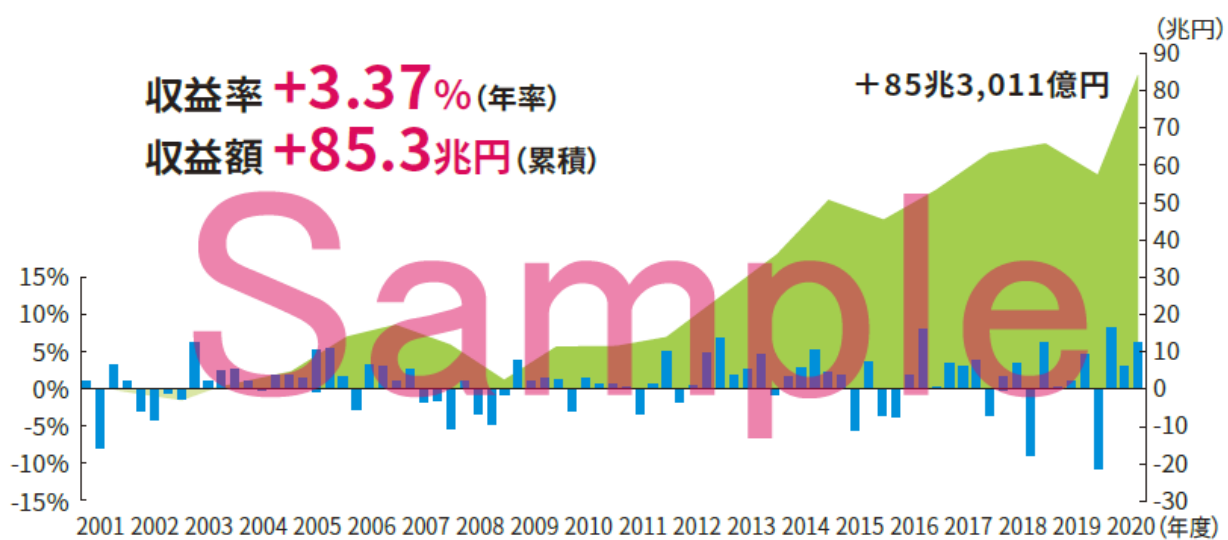


「投資」はマネーゲームではありません。

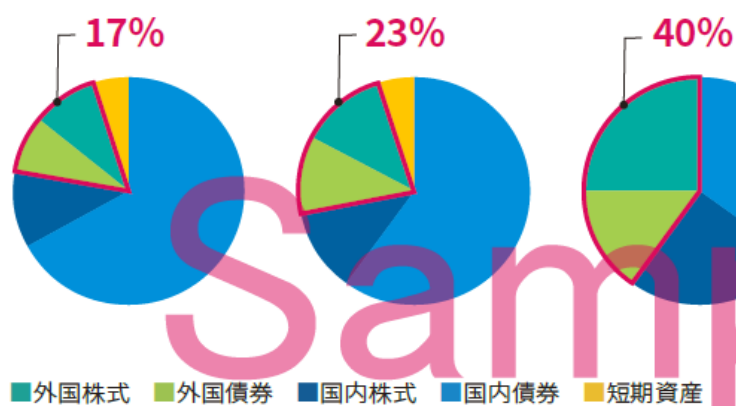
■ 公的年金積立金の累積収益額

■ 四半期別収益率

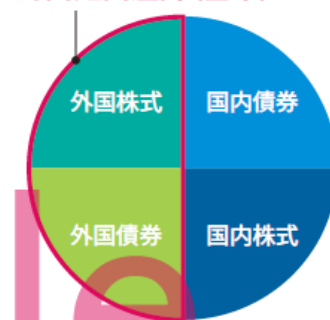
リーマンショックを経てもプラス



2006年4月～2013年6月 2013年6月～2014年10月 2014年10月～2020年4月



2020年4月～
外貨建資産計(基本) **50%**



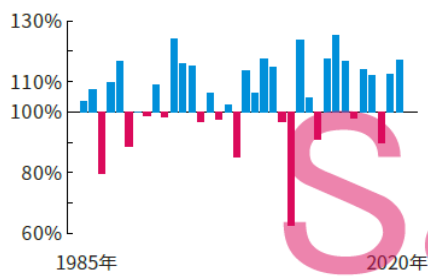
この10年間で、外貨投資の割合は約**3倍**に増加!

出典: GPIF 年金積立金管理運用独立行政法人ホームページより算出

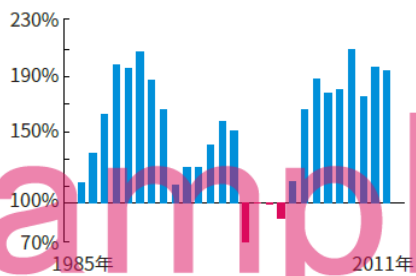
GPIFの資産構成は、国内外の株式などに幅広く分散投資しており、とりわけ近年は外貨投資を拡大しています。

下の棒グラフは、毎月2万円の積み立てを毎年新たに開始した場合の騰落率（運用成果÷投資元本）の推移です。

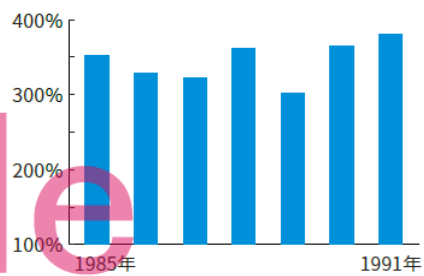
保有期間1年の場合



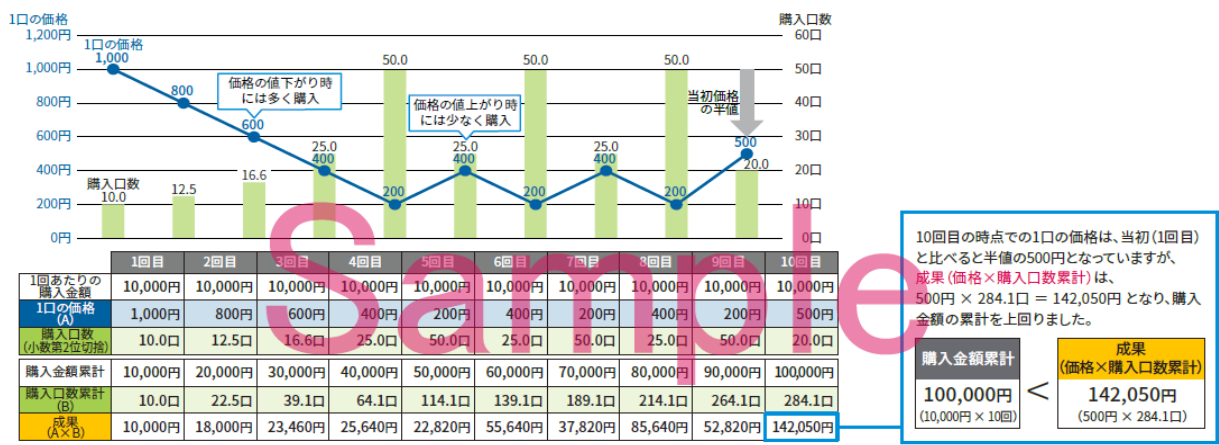
保有期間10年の場合



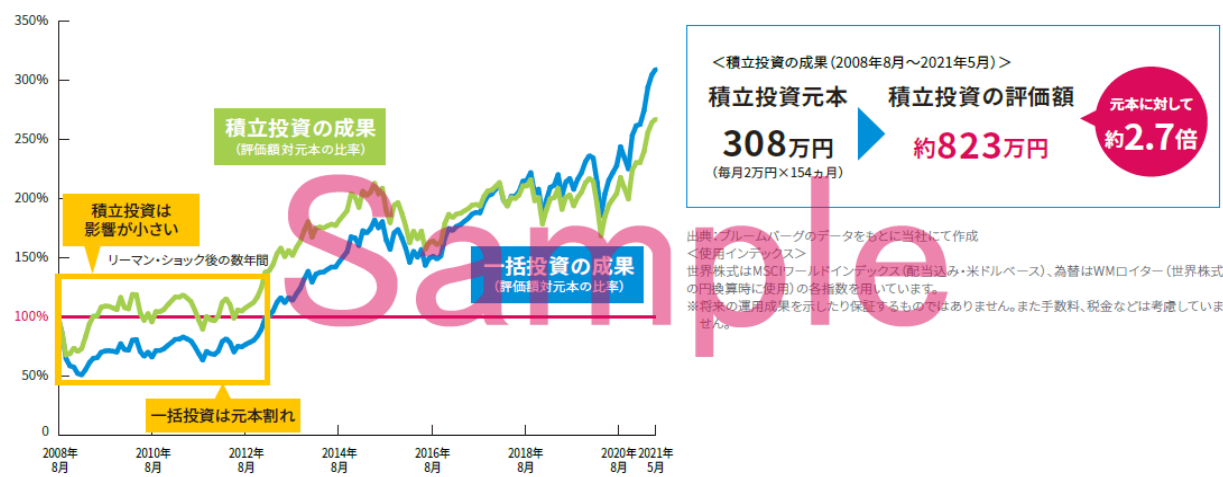
保有期間30年の場合



(ドルコスト平均法のイメージ)



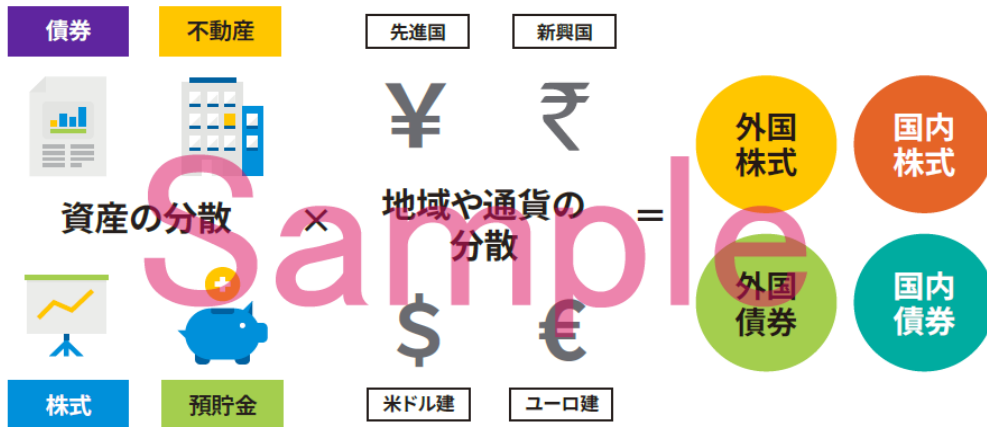
2008年9月のリーマン・ショック直前から、世界株式に投資した場合の成果（評価額対元本の比率）を比較してみましょう。



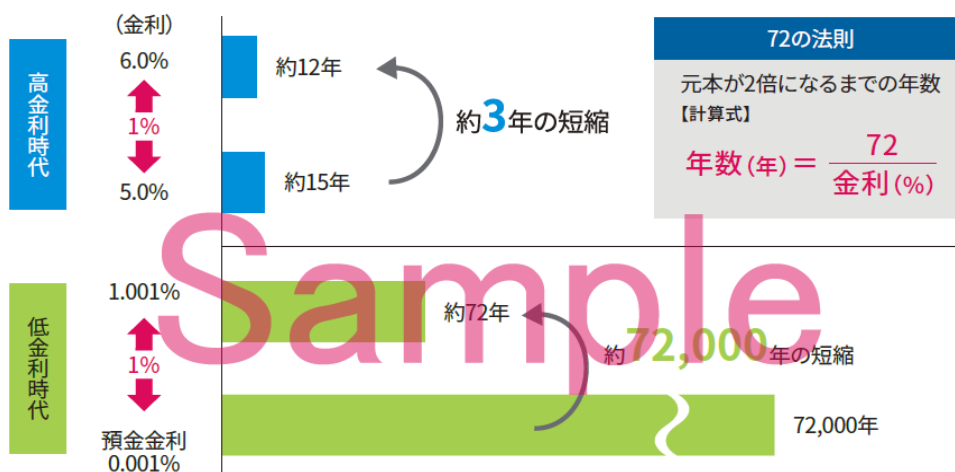
投資の成果を元本と比較すると、積立投資では安定してほぼ元本以上で推移しています。

すべての卵をひとつのかごに盛るな！

(例)

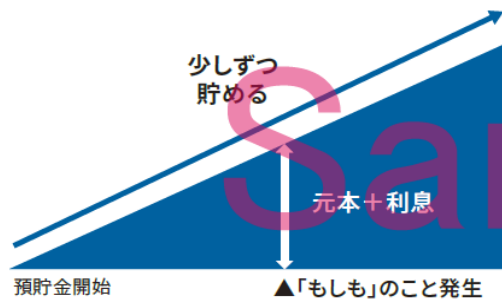


変動要素の異なる資産に分散投資することで、
リスクを軽減し安定的なリターンを期待できます。

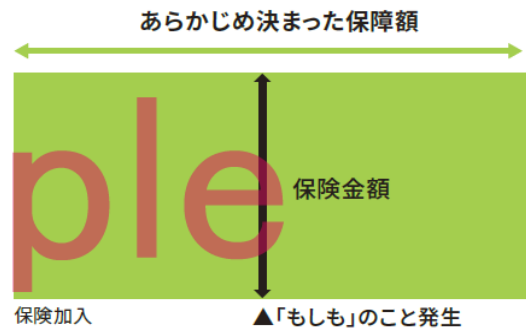


低金利時代の今は、金利が1%でも高い外貨建資産などに置き場所を変えるだけで、元本を2倍にする期間を大きく短縮できる効果が期待できます。

預貯金は三角

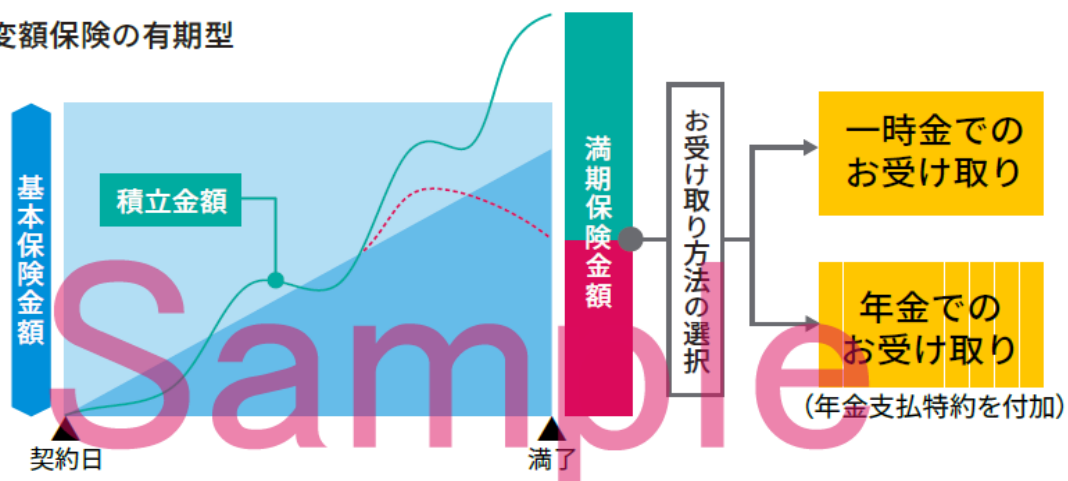


保険は四角



いつ起きるかわからない「もしも」に備えるために、生命保険があります。

(イメージ) 変額保険の有期型



満期保険金額に最低保証はありません。
払込保険料累計額を下回る場合があります。

(イメージ)

